

# 令和元年度 自己評価実践報告

学校名 安達高等学校

## I 自己評価の概要

### 1 『学校経営・運営ビジョンについて』

(1) 『学校経営・運営ビジョンについて』(別紙)

(2) 今年度の重点事項作成のねらい

昨年度から引き続き5つの重点事項を

- ① 進路希望の実現
- ② 基本的生活習慣の確立
- ③ ESD教育・特別活動・部活動の充実
- ④ 教職員の指導力の向上
- ⑤ 開かれた学校づくりの推進 とした。

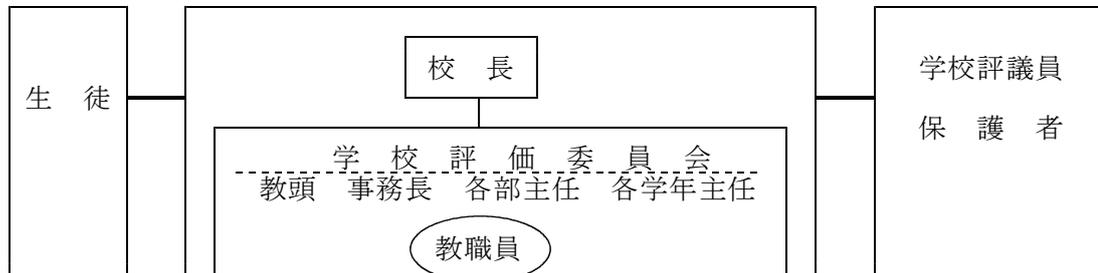
また、「安達高校の挑戦～創立100周年(H35)へ向けて」を策定し、長期指針を示した。

(3) 作成のプロセス

校長が立案し、メッセージを加え、運営委員会で意見を聴取して修正を加え、職員会議に提示して教職員の共通理解を得て作成した。

### 2 校内組織体制について

(1) 組織図



#### 【学校評価委員会の役割】

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○学校評価に関わる各種原案作成等<ul style="list-style-type: none"><li>・評価項目の検討と評価表の作成</li><li>・評価の実施と集計、分析、公表</li><li>・評価結果に基づく改善原案作成等</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>○各種資料の収集、整理、保管</li><li>○評価に関する広報活動</li><li>○その他学校評価に関わること</li></ul> |
|--|---|

(2) 組織作成のねらい

校長のもとに評価委員会を設け、この委員会が自己評価及び外部評価の原案作成、実施、分析等をすすめる役割を持たせた。今年度も評価委員会は運営委員会が兼ねる。

### 3 自己評価年計画について

#### (1) 年間計画について

月	自己評価概要	学校評議員による外部評価
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年度学校経営・運営ビジョンの策定</li> <li>○平成31年度各部、学年、各教科、努力目標策定</li> <li>○保護者等への学校経営・運営ビジョンの公表</li> </ul>	○学校評議員の委嘱
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価年間計画案の検討</li> <li>・学校評価に関するアンケート内容の検討</li> </ul> </li> </ul>	
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回学校評議員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営・運営ビジョン等の説明</li> </ul> </li> </ul>
7		
8		
9	○学校評価に関するアンケート実施・回収	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価に関するアンケート集計・分析</li> <li>○学校評価委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価に関するアンケートの分析</li> </ul> </li> </ul>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者等へのアンケート結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回学校評議員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価に関するアンケート結果</li> <li>・学校経営の状況説明</li> </ul> </li> </ul>
12		
1	○アンケート分析を踏まえた各部・各学年・各教科の努力目標に対する年度末評価	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部等の年度末評価について</li> <li>・「自己評価実践報告書」について</li> </ul> </li> <li>○「評価書」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第3回学校評議員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己評価実践報告」</li> </ul> </li> <li>○学校評議員による評価の実施</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自己評価実践報告書」「評価書」の県教育委員会への報告</li> <li>○令和2年度「学校経営・運営ビジョン」の検討</li> </ul>	

#### (2) 作成のねらい、意図

教職員の人事評価制度、各部・学年等の年度末反省、生徒・保護者による学校評価に関するアンケート、学校評議員による評価がそれぞれ連動し合うように年間計画を策定した。

## II 評価結果の概要

### 1 実施方法等

項目	年度末評価			
	実施部署	評価	実施方法	コメント
教職員の自己評価	学校評価委員会	4分法による評価	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度との比較のため、質問項目は変更しなかった。</li> <li>保護者の回収率を高めるため、引き続き広報活動を行う。</li> </ul>
生徒による評価	学校評価委員会	4分法による評価	アンケート	
保護者による評価	学校評価委員会	4分法による評価	アンケート	
各部・学年・教科の努力目標に対する反省・評価	学校評価委員会		協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの反省評価を学校評議員会、学校評議員会、職員会議に提出した。</li> </ul>
学校評議員による外部評価	学校評価委員会	記述	協議 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>反省評価を踏まえ、検討していただいた。</li> </ul>

○ アンケート集計については三者間比較及び経年比較を実施し、本校の教育活動で評価されている事項、評価されていない事項が分類別、時系列で明らかになるよう工夫した。

### 2 アンケート及び回答数

(平成30年9月調査)

		令和元年度アンケート			H30年度アンケート		
		対象数	回答数	回収率	対象数	回答数	回収率
教職員		35	27	77%	35	35	100%
教職員以外	生徒	523	514	98%	545	490	90%
	保護者	523	433	83%	545	455	84%

○ 回答率については、教職員は回答率が一番低く77%であった。一方で、生徒の回収率が8ポイント上がった。来年度は教職員の呼びかけを複数回行うことで回答率を上げていきたい。

### 3 アンケートの評価基準について

評価	A	B	C	D
評価基準	よくあてはまる (そう思う)	やや当てはまる (だいたいそう思う)	あまり当てはまらない (あまりそう思わない)	全く当てはまらない (そう思わない)

※傾向を把握しやすいよう4分法による評価基準とした。



ている」 96% (前年95%)  
「本校は、事故や問題等の防止についてきめ細やかに対応している」  
90% (前年90%)

③ 重点事項3「ESD活動・特別活動・部活動等の充実」について

ESD教育の活動については、生徒保護者ともに高評価が得られた。日頃から生徒会活動や部活動が活発であり、また、ユネスコスクールサポータークラブや部活動を続けた生徒が大学進学を果たす例が多く、生徒は昨年に比べ5ポイントほど減少しているが、保護者のアンケートからも本校の文武両道の精神が根付いているものと肯定的な評価を受けている。一方で、ESD活動の知名度は地域には浸透しているとは言えず、本校の特色を知ってもらうためにも外部へのさらなるアピールが必要である。

今年も吹奏楽部などの部活で組織的なボランティア活動をしていることに加え、生徒会でも警察と連携し地域安全や社会モラルの向上といった目標でボランティア組織(リバーズ)に加わっており、地域に貢献している。

(生徒)「本校は、ESD教育が活発に行われている」 87% (昨年93%)  
(保護者)「本校はESD教育に熱心である」 95% (昨年90%)  
(生徒)「本校は、部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」 87% (昨年88%)  
(保護者)「 」 95% (昨年88%)

④ 重点事項4「教員の指導力の向上」について

教職員のアンケート結果では、「研修活動が計画的に活発に行われている」について、昨年度は肯定的評価が68%で、昨年度の77%より低い評価となった。教科の研修については、各教科でAL型授業の実践を行っており、授業改革に着実に実績を積んできている。

少子化に伴う生徒数減少の中、本校を志願する生徒層も変わってきており、わかりやすく教えることを追及することが、生徒の自立につながっていくのか、慎重に見定めていく必要はあると感じている。なお、教科以外の研修については、スクールカウンセラーを講師に招いた特別支援教育研修を実施した。

(教職員)「校内における教員の研修活動は、計画的に活発に行われている」 68% (昨年77%)  
(生徒)「本校の先生方の授業は、目標や学習活動が明確で、理解が深まるように工夫されている」 81% (昨年74%)  
(保護者)「本校の授業は、目標や学習活動が示され、理解が深まるよう工夫されている」 84% (昨年88%)

⑤ 重点事項5「開かれた学校作りの推進」について

今年度は、台風の影響のあり生徒保護者への情報発信が多かった。が、ホームページの内容の更新が遅れたこともあり、アンケート結果では、「本校は、教育活動についてホームページや学年便りなどさまざまな方法で家庭・地域に情報発信をしている」について、生徒保護者共に昨年度よりポイント数が大きく減少した。

本校の情報ツールとしては、PTA新聞等の定期的な発行物の他、ホームページやメール配信の「39メール」を持っているが、ホームページよりもメールの方が即効性があり効果的である。今後も緊急性のある情報や生徒に関わる重要な情報を中心に保護者に直接メール配信し、周知に努めていきたい。

(生徒)「本校は、教育活動についてホームページや学年便りなどさまざまな方法で家庭・地域に情報発信をしている」 76% (昨年82%)  
 (保護者)「 ” ” 」 83% (昨年82%)

### (3) ユネスコスクールとしての活動について

本校は県内最初の、また県内高校では唯一のユネスコスクールとして、今年度も多彩なESD活動に取り組んできた。

今年度は、道徳教育推進校の指定を受けたことで、「ESD活動を通して、現代社会の諸課題に対する道徳的な思考を深める。～課題解決を通して自己発見・自己理解を促す取組～」として活動した。令和元年11月8日(金)に本校で県北地区道徳教育推進協議会を開催した。

今後もESD活動をとおして、様々な機会を生徒に提供することで、生徒の進路実現に役立ててきたいと考えている。

## III 広報の概要

### 1 目的や意図

教育活動の状況とその評価を公表することは、学校としての説明責任を果たすことである。また、教職員、生徒、保護者、地域社会から意見を聴取することにより、なお一層の信頼関係を深めるとともに、本校の教育活動に対する関心を高めることになる。

### 2 実施計画、及び実施状況

月	実施計画・実施状況の内容
4	○ 学校ホームページに『学校経営・運営ビジョン』を掲載した。 ○ PTA総会で、『学校経営・運営ビジョン』を保護者へ配付し、校長より説明を行った。
6	○ 第1回学校評議員会で、『学校経営・運営ビジョン』を配付・説明するとともに学校の概況について説明した。
11	○ 第2回学校評議員会で授業参観を行うとともに『学校評価に関するアンケートの結果』について検討し、意見を聴取した。
2	○ 第3回学校評議員会で『努力目標に対する評価と反省』を配付・説明し、意見を聴取した。
3	○ 『学校評価に関するアンケートの結果』を学校ホームページに掲載した。

### 3 実施後の反省点

(1) アンケートや年度末反省で浮かび上がった課題については、運営委員会・職員会議で取り上げ、課題の共有を図った。ただ、インフルエンザによる学級閉鎖、新型コロナウイルス感染防止への対応、新しい高校入試の準備など十分な時間を確保するのが難しかった。

(2) 中学校への情報提供については、学校説明会や本校での体験入学等において本校についての理解を深めてもらっている。

## IV 次年度に向けて

### 1 評価結果の特徴、自己評価実践の成果等

生徒・保護者アンケート結果について、今年度もおおむね高い評価を得ることができたと考えている。しかし、生徒と保護者に差がある項目があることから、それらの項目の反省を次年度に生かしていきたい。

また、令和2年度の募集定員が1クラス減となることから、教育課程の見直しを進める必要に迫られている。生徒数の減少が進む中、生徒の進路希望が多様化していることから、新しい学習指導要領への対応も含め時間をかけて進めていきたい。

### 2 自己評価全体の次年度に向けての課題、改善、取り組み等

#### (1) 学校経営・運営ビジョンについて

「安達高校の挑戦～創立100周年（H35）～に向けて」の中長期ビジョンを受けた学校経営・運営ビジョンとするとともに、令和元年度の学校評価を実施して明らかになった課題や問題点についてさらに分析を進め、重点事項を設定する。

#### (2) 組織について

学校評価委員を運営委員と同じメンバーとしたが、委員会としての活動に支障はなく、むしろ学校課題を検討する上で有効であった。

#### (3) 年間計画について

今年度実施して円滑に進めることができた。次年度も同様の計画で実施していきたい。

#### (4) その他

ホームページを積極的に活用するなど、保護者に対しても総会や保護者会など機会をとらえ、理解と協力を得るよう努める。

さらに、教職員一人ひとりが学校評価の意図等を再確認し、学校が抱えている課題の解決・改善に向けて共通理解を図り取り組んでいきたい。

### 3 終わりに

今年度の反省を踏まえて、教育課程の見直しを進め教育目標の達成に向けて努力していきたい。

また、新型コロナウイルス感染防止への対応経験を生かして、生徒の安心・安全な学経営をしていきたい。